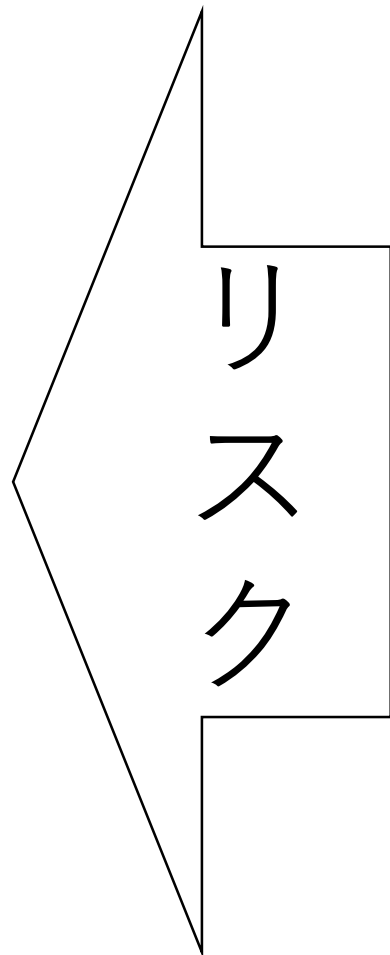


みんなで作る 不登校支援システム

～予防、初期対応、中長期対応

芽室町教育委員会 教育推進課



不登校

芽室町不登校支援システム

第2章 2-3 参照

保護要因 ⁴	リスク要因 ⁴
<p>学校⁴</p> <ul style="list-style-type: none">・面倒見のよい支持的な成人の存在と関与⁴・友だちの人数⁴・学校の質の高さ⁴・明確な基準とルールがある⁴・学校に参加する強力な動機⁴・教師に対する愛着、信頼、関わり⁴・平均を上回る学業成績⁴	<p>学校⁴</p> <ul style="list-style-type: none">・低い学力⁴・小学校3・4年生の読み書きスキルができない⁴・不登校⁴・友だちからの孤立⁴・いじめ被害⁴・いじめ加害⁴・就学指導の失敗⁴・学校風土の低さ (JaSC得点)⁴
<p>家庭⁴</p> <ul style="list-style-type: none">・効果的な子育て⁴・親との良好な関係⁴・相手に利益をもたらすような行動の機会⁴・家族構成員の安定⁴・子どもに対する期待⁴	<p>家庭⁴</p> <ul style="list-style-type: none">・貧困⁴・虐待⁴・一貫性のないしつけ⁴・愛着不足⁴・保護者の依存症・精神疾患・障がい・低学歴⁴
<p>個人⁴</p> <ul style="list-style-type: none">・コミュニケーションスキル⁴・問題解決スキル⁴・自律性 (セルフコントロール)⁴・フラストレーションに簡単に負けない力 (レジリエンス)⁴・自己効力感、セルフエスティーム⁴・やり抜く力 (グリット)⁴・自分への高い期待⁴	<p>個人⁴</p> <ul style="list-style-type: none">・衝動性や攻撃性の早期発現⁴・感情 (特に怒り) のコントロール力が弱い⁴・友だちからの孤立⁴・発達障がい⁴・低出生体重⁴・外国人⁴

登校に困難を抱える様子がはっきりしてきた児童生徒へのアプローチを組織的・計画的に行うための整理に併せて、

科学的にわかったリスク要因と保護要因にそったアプローチを整理することで、

登校に困難を抱える様子が顕在化していない児童生徒も対象とした不登校対策が可能になります。

様子が顕在化していない児童生徒への不登校対策とは、リスク要因を減らすアプローチをし、保護要因を増やすよう努めることに尽きます。

学校風土とは

- 「学校風土とは、学校生活の特性と質であり、それは児童生徒・保護者・教職員の学校生活における経験に基づいている。また、規範、目標、価値観、人間関係、教えと学びの実践、組織体制を反映するものである」(National School Climate Council : Cohen,2014)
- 学校風土の向上が、児童生徒の行動上の問題の改善や、学業成績の向上と関連していることが、諸外国の研究からわかっています。

学校風土調査とは

- 学校風土が良いかどうか、私たちの取組みにより学校風土が改善したかどうかを知るためには、まずは**正しく測定される必要があります。**
- 諸外国で用いられる学校風土尺度や日本の質問紙をベースに、文部科学省委託事業「子どもみんなプロジェクト」（いじめ対策・不登校支援対策事業：脳科学・精神医学・心理学等と学校教育の連携の在り方に関する調査研究）（平成27年～令和元年度）により、10大学コンソーシアムと16教育委員会の連携で「学校風土尺度」が策定されました。

学校風土調査

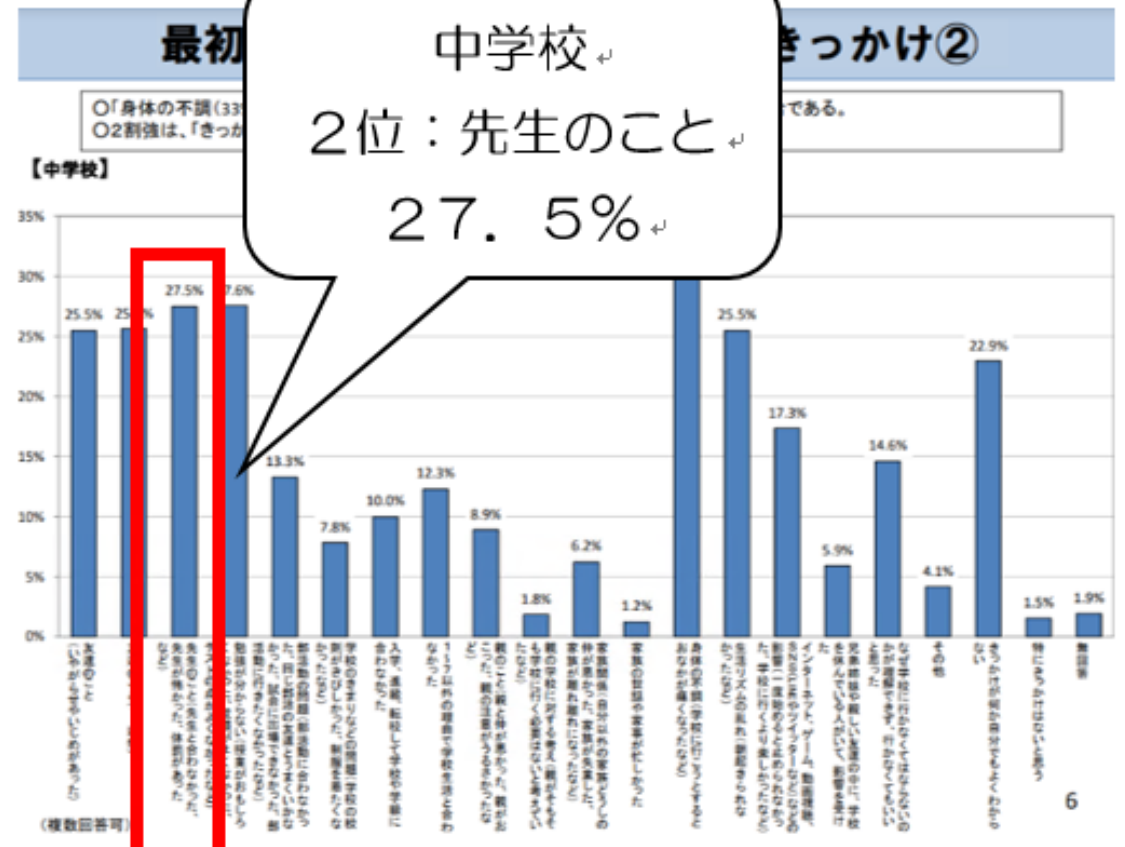
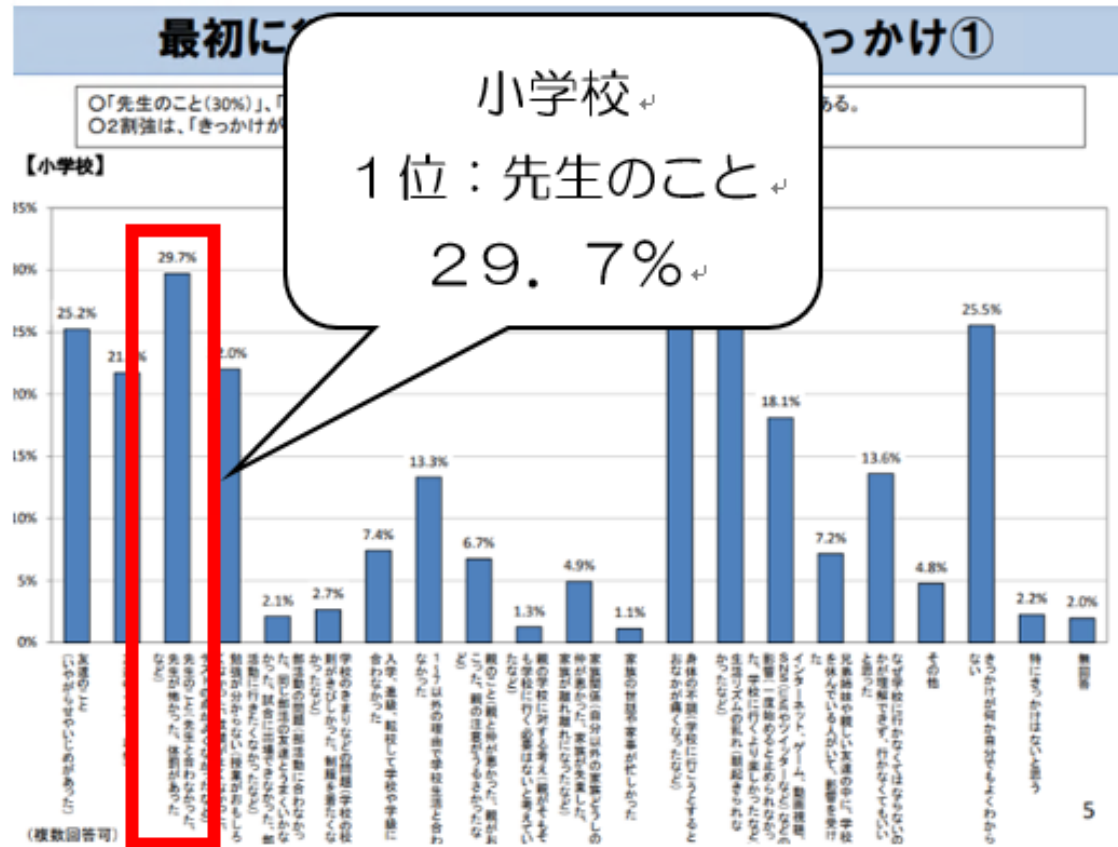
- 32項目の質問調査。児童生徒はWeb上で入力する。
- 児童生徒の行動に影響を与える学校生活の特性と質に関する質問項目。
- 解析により、項目ごと・男女別でグラフ化される。学校・学級別に表示される。
- カットオフ値により、リスクの度合いが色分けされて表示される。

(カットオフ値とは：検査・測定の際の正常とみなす範囲とそうでない範囲を区切る値のこと)

安全	この学校の児童生徒は、この学校について安全だと感じている。	男子	47.9
		女子	51.5
	この学校の先生は、いじめなどをしっかりと注意してくれる。	男子	50.5
		女子	50.0
決まり	決まりをやぶった時の結果はたれでも同じで納得がいくものだ。	男子	57.0
		女子	53.5
	この学校の決まりは納得がいくものだ。	男子	53.3
		女子	52.1
	この学校の決まりは、だれに対しても公平だ。	男子	54.3
		女子	52.1
	この学校の児童生徒は、授業中何をすればいいか、はっきりと教えてもらっている。	男子	56.1
授業		女子	50.8
	この学校では、授業に集中することができる。	男子	52.7
		女子	47.3
	授業では、クラスの友だちとの間で話し合う活動をよく行っている。	男子	52.8
		女子	53.7
	この学校の授業は楽しい。	男子	52.9
		女子	52.9
	この学校では、イライラしても、上手に気分転換したりストレス解消したりする方法を学んでいる。	男子	47.6
心の教育		女子	45.5
	この学校の先生は、大切なことはだめとはっきり教えてくれる。	男子	51.7
		女子	50.4
	この学校では、けんかやいじめなどの問題を解決する方法を学んでいる。	男子	56.1
		女子	54.0
	この学校では、他の人の気持ちを理解するための方法を学んでいる。	男子	53.4
	女子	47.1	

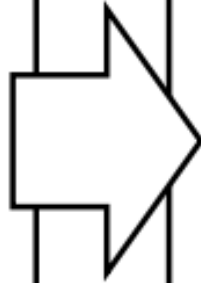
- 児童生徒一人ひとりを評価して不登校の早期発見を目指すのではなく、児童生徒の適応に影響を与える項目を評価して不登校の未然防止を目指すためのツール
- 標準化やカットオフ値などエビデンスを用いるツール
- 児童生徒一人ひとりを変容させるアプローチの前に、学校・学級を変容させるアプローチを講じるためのツール

令和2年度不登校児童生徒の実態調査（文科省） ～小学校6年生と中学校2年生対象 「最初に行きづらいつと感じ始めたきっかけ」



これまでの不登校対応

- ① 不登校傾向が顕著になってから対応開始。
- ② 学校へ行きづらくなったその児童生徒を変えようとしてきた。
- ③ 別室登校、カウンセリング、適応指導教室など、教室の外で対応。

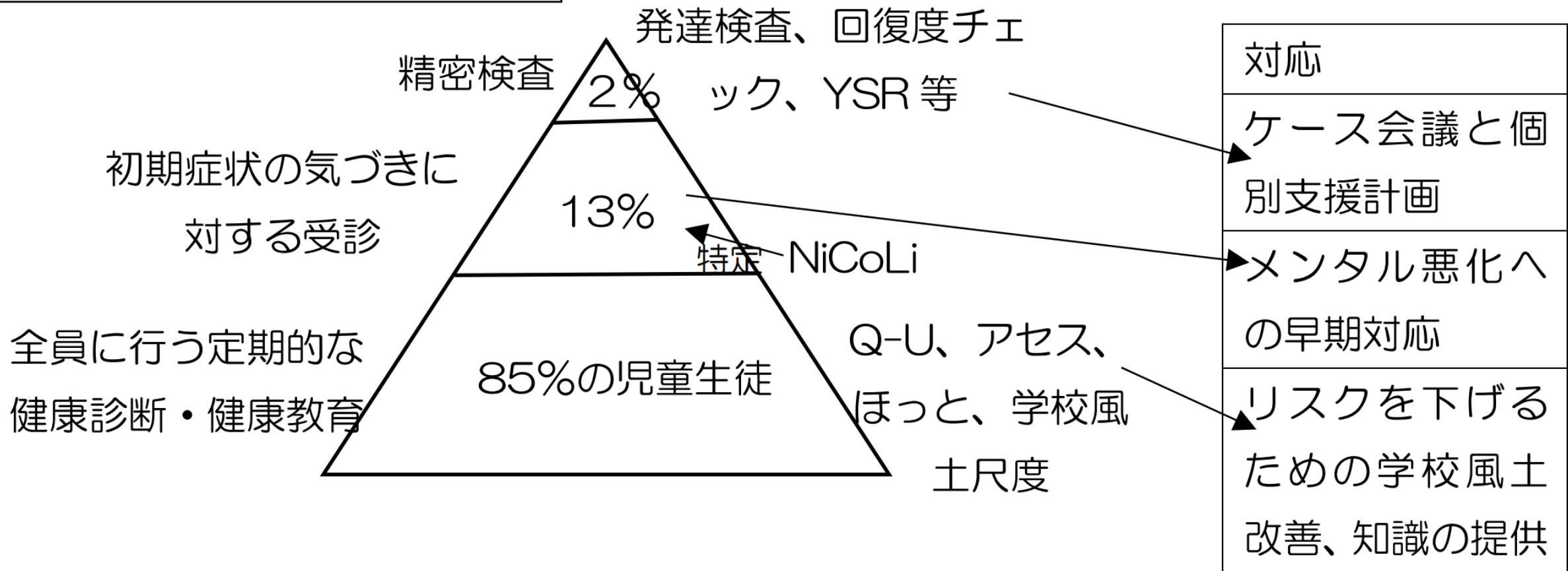


これからの不登校対応

- ① 普段からリスクを下げる対応。
- ② 学校・学級を変える。
- ③ 教室の中の何を変える必要があるのか、科学的な所見（エビデンスデータベース）を使う。

(例) 健康面のアセスメント

登校困難に係るアセスメント



令和3年度 芽室町不登校支援 システム構築協議会

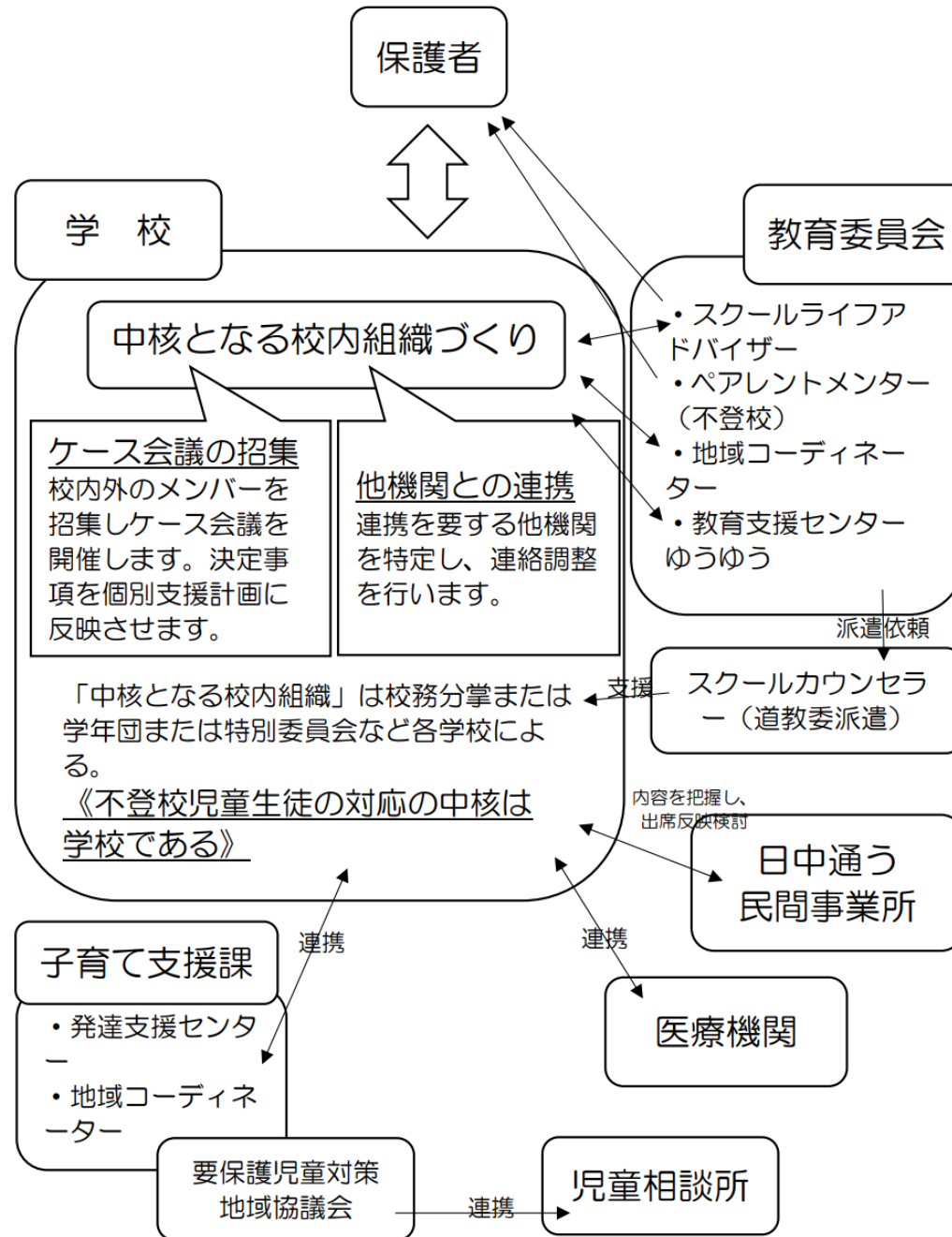
- 町内小中学校
教頭、担当教諭
- 有識者 4名
- 子育て支援課
- 教育推進課
- 年4回の協議会
- 部会協議
- 有識者講話



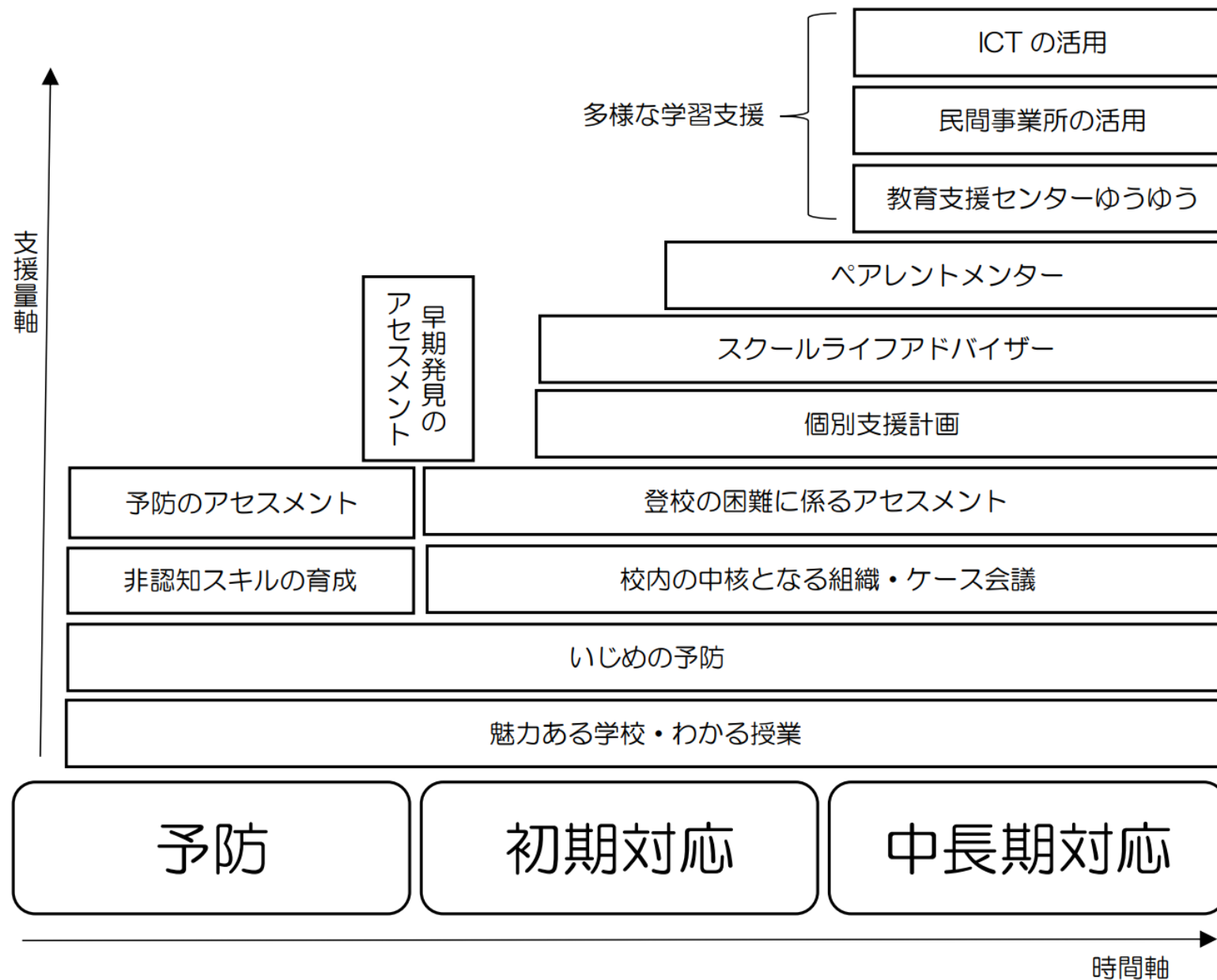
芽室町不登校支援システム



2-4 システムの組織関連の概要図



2-5 取組の概要図



2 連続3日の欠席（目安）		
本人	学級担任	学年・学校
<p>連続3日の欠席</p> <p>（連続〇日とは目安であり、断続的であったり、2日であっても、他のリスク要因の大きさなどと照らして判断する）</p>	<p>電話連絡する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本人、保護者から様子の聞き取り、家庭と連携。 ・日課や活動に見通しを示すような口頭連絡 ・安心させるような環境づくりを示す口頭連絡 <p>アセスメント</p> <p>以下の点を簡易に報告する準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登校に係る現状 ・学力 ・友人関係 ・家庭環境 ・想定される不登校要因（複数可） ・特記すべき成育歴 ・特記すべきリスク要因・保護要因 	<p>情報共有</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校長・教頭に報告 <p>対応策を協議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて学年などで協議をもつ ・必要に応じて鈴木 SLA へ連絡する

3 連続5日の欠席（目安）		
本人	学級担任	学年・学校
<p>連続5日の欠席</p> <p>家庭訪問してきた</p>	<p>家庭訪問</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本人、保護者から様子の聞き取り、家庭と連携。 ・日課や活動に見通しを示すような口頭連絡 ・安心させるような環境づくり 	<p>○学級担任を支援</p>

		目 標	具体的な手立て:担当者:支援期間	成果・評価(月 日)
居場所機能				
学習機能	(基礎学的 教科的 学力)			
	体験的			
復学機能				
進路支援機能				

次回ケース会議の日程	令和 月 日	ケース会議日程調整担当者	
(校内回覧) 校長	教頭 学年主任 担任	交流学級担任 支援員	保管(生徒指導部)

4-8 保護者配布用資料

保護者と学校が一貫した支援方針で対応することは大変重要ですが、不登校の初期対応では、学校と保護者の意思が分かれたり、摩擦が生じることも、またよくあることです。(4-3ケース会議の開催参照)

保護者との面談・ケース会議の中で、必要に応じて使用できる配布用資料です。共通の資料で確認しながら話すことで、保護者と共通理解・共通言語を生みやすく、ケース会議を機能的に行うことができます。

テーマ
休養期・充電期って？
ゲームをどうするか
起立性調節障がいって？
HSCって？
昼夜逆転したら
進路を知ろう
芽室町 地域資源表
対応ステージチェック
学校についての質問紙 SRAS-C
教育支援センターゆうゆう
ペアレントメンターとは